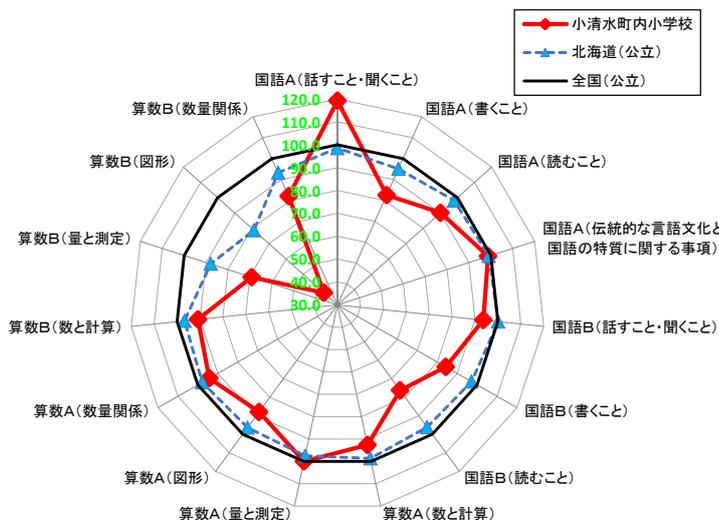


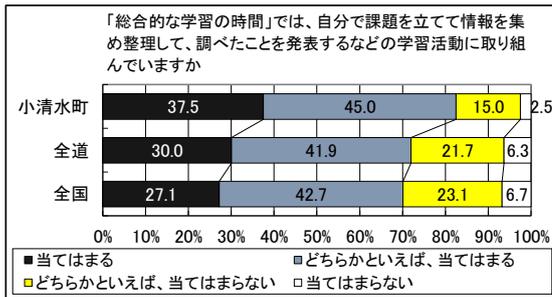
■小清水町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:40人)

【教科全体の状況】

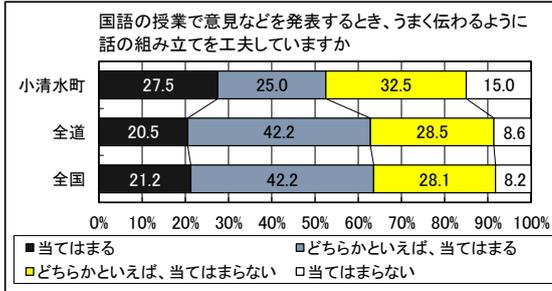
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



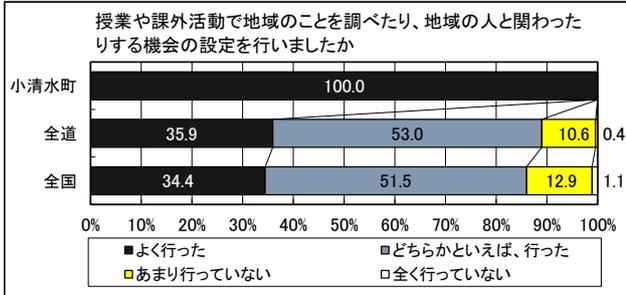
【児童質問紙調査】



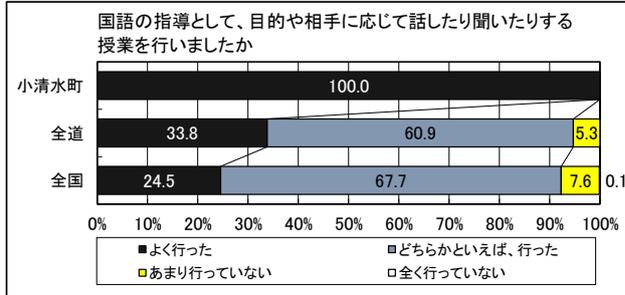
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国と同じである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会を設定するなど、地域の教育資源を積極的に活用したことにより、身近な事象を主体的にとらえ、探究的に学習する活動の充実が図られたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を学校全体で継続的に行ったことにより、児童に、話す順序や構成を工夫し、適切な言葉遣いで話す能力などが身に付き、国語Aの「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会を設定している。 ○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行っている。 	

【小清水町の学力向上策】

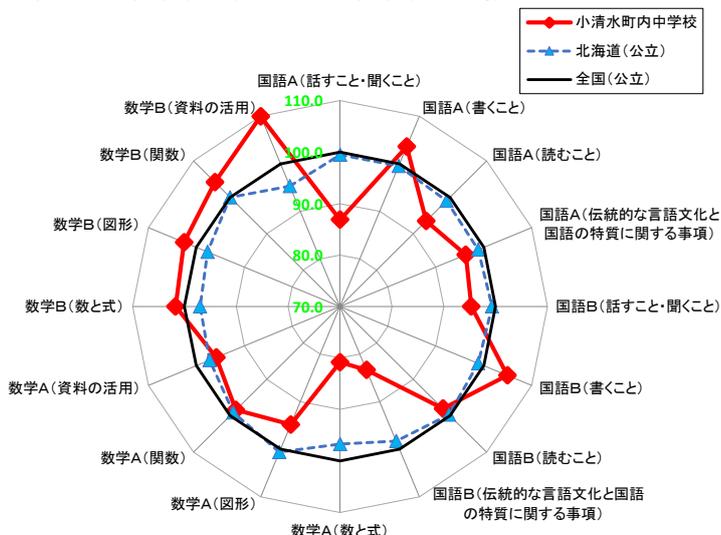
- ◎ 土曜授業の実施による反復学習の時間の確保
- ◎ 小中一貫教育による義務教育9年間を通じた教育課程の編成と系統的な教育を施すための新しい教育づくりの推進
- ◎ 生涯を通じた学習環境の充実や学校・家庭・地域の連携

■小清水町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:29人)

【教科全体の状況】

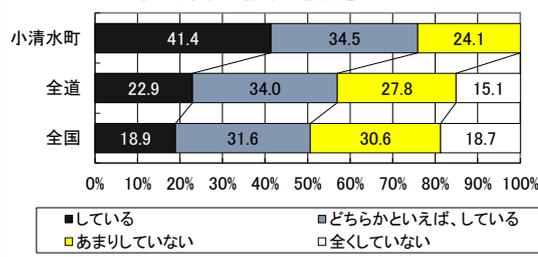
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



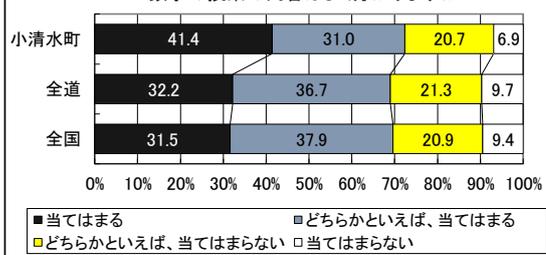
【生徒質問紙調査】

家で、学校の授業の復習をしていますか



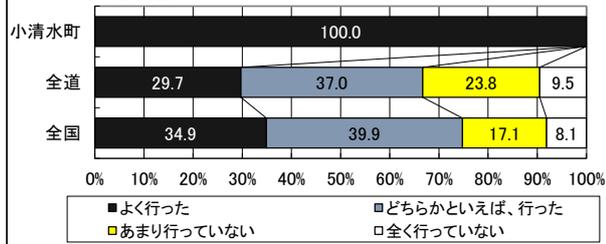
【生徒質問紙調査】

数学の授業の内容はよく分かりますか



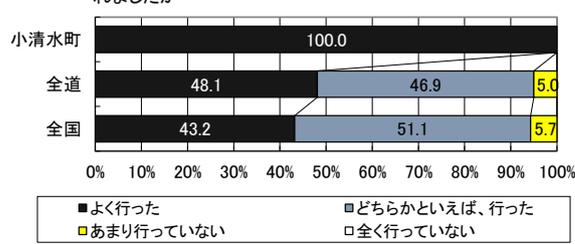
【学校質問紙調査】

近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか



【学校質問紙調査】

授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか



【分析】

項目	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、すべての領域で全国を上回っている。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った。 ○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている。

【小清水町の学力向上策】

- ◎ 土曜授業の実施による反復学習の時間の確保
- ◎ 小中一貫教育による義務教育9年間を通じた教育課程の編成と系統的な教育を施すための新しい教育づくりの推進
- ◎ 生涯を通じた学習環境の充実や学校・家庭・地域の連携